

新日本

シネスコ版

高新 No. 308

新巻 No. 216

No. 553

39. 8. 21

一、日高の馬

—北海道

北海道日高地方は我國最大の競走馬産地。ここ元浦河の谷はメイスイなど多くのダービー馬を産んできました。

海岸から山裾に広がる原野は殆んどが牧場。優秀な種馬と繁殖牝馬を抱え、血筋に恵まれた競走馬の生産、育成が行なわれているのです。

放牧場で母馬に見守られ乍ら無心に草をはむ仔馬。ヤンチャな二才馬は徒党を組んで思い切り暴れまわります。

彼らは走ることに、ただ走るために創造され、生を受けたのです。

美しい姿態に力強さを秘めて激しくもきびしい訓練に堪えて最高馬の地位に走りつこうとするのです。

カメラ・ルポ

一、蛎殻町かいわい

—東京

証券の町、兜町から川一つへだてたところにあるのが赤いダイヤの町蛎殻町。今日も「売った」「買った」に明け暮れているのです。

「赤いダイヤ」小豆の相場は産地北海道のお天気しだい。

取引もお天気を聞いて始まります。天気が悪いとあれば、不作が予想され相場はたちまち急騰。小豆は天候で出来、不出来が非常に大きく、相場は常にはげしくゆれ動いています。

わずな証拠金で約十倍もの相場が出来るとあって、不振の証券に見切りをつけた素人投資家が続々蛎殻町へくりこんでいます。青い目の外人相場師も現われた昨今。

小豆セールスもこの春短大を卒業したばかりのお嬢さん二人。連日に素人相場師さがしに大わらわです。

623 Feet 239 F

284 F

製作 配給 中 部 日 本 新 聞 北 陸 中 日 新 聞

東 京 中 日 新 聞 中 日 映 画 社 中 部 日 本 映 画 社